



SSKP つくしんぼの会報紙

つくつく通信

No.91

HP <http://www.normanet.ne.jp/~tsukushi/> BLOG <http://tsukushinbo.cocolog-nifty.com/>

つくしんぼはハンディをもつ
子どもたちのための
放課後活動のスペースです

編集～NPO 法人はらっぱ
フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL/FAX 042-796-8468

配達されない三通の通信・・・

ゴメンナサイ……

年4回という目標を掲げつつ、
通信の発行の期間が半年も空いて
しまいました。

日々の活動の方は丸ごと職員た
ちに任せられるのですが、この通
信の発行だけはなかなか丸投げが
出来ず……。

ささえる会の会費を頂いている
皆さんには、本当に申し訳なく思っ
ています。

発達障害啓発週間が……

昨年の秋以降、自閉症の青年の
日常を描いた映画『ぼくはうみが
みたくなりました』の自主上映が
ずっと続いており、私自身が全国
行脚の真つ最中でした……。

既に百ヶ所以上の地域で上映会
を開催して頂いており、特に3月
～4月にかけては、「世界自閉症
啓発デー」と「発達障害啓発週間」
の期間ということもあり、二カ月
間で自閉症関係者からの上映依頼
が50本以上も!!

嬉しい悲鳴なのですが、長男の
事故以来、四年間休まず突っ走る
ように映画製作を続けてきて、お
まけに自主上映自体の事務作業を
すべて私一人だけでこなしていた
ため、4月半ばにはついに過労で
倒れてしまい、ドクターストップ。
それっきり二ヶ月以上、寝たり起
きたりの状態が続いていました。
ここにきて、ようやく回復して
きて、やっとなんとか通信が書け

る感じになってきたという次第で
して……。

それってもしかして？

そんな七月に入ってからある活動
日の夕刻、市役所の福祉課から連
絡があり、つくしんぼを見学した
いとのこと。熱心な新人サン職員
さんが放課後活動とはどんな感じ
のものなのかを見に来てくださる
のかと思いきや……。

結局のところは、自立支援法の
新体系への移行の話ばかり。ぼく
うみの映画のことすらまったくこ
存しない様子で、ただひたすら「児
童・ディサービスへの移行」をセー
ルスピール。挙げ句の果てには、
「移行しとこない」と来年は補助金
がないかも」と言われ、え？ それ
てもしかして脅し？……。

よっぽど何か言い返してやろう
と思ったりはしたものの、悲しい
かな私には自立支援法に関する知
識がまったく無く、結局のところ
まったく何も言うことが出来ず仕
舞いで……。

言い訳になるけど……

長男の事故が四年半前、それ以
来映画製作だけに没頭してきた私
です。あの頃はまだ自立支援法の
施行前でした。なので正直なところ、
自立支援法の詳細をちゃんと
勉強したことがありません。放課
後活動の施設が移行先など皆無で
したし……。

東京都に要望します

放課後連東京では、毎年、都に
対して要請行動を行なっており、
要望書を提出しています。今年も
夏休み期間の真つ最中に行なう予
定です。

①障害のある子どもの放課後活動
にふさわしい水準や条件が備わっ
た制度が国において確立されるよ
う、国などにいっそう強く働きか
けてください。

②障害のある子どもの放課後活動
にふさわしい制度が国において確
立されるまでは、都の独自の制度
である「訓練事業」「地域デイグル
ープ事業」を継続して実施すると同
時に、新規のグループの参入を認
めてください。

③障害のある子どもの放課後活動
にふさわしい制度が国において確
立されたとしても、国の制度から
外れる事業（例えば、障害のある
青年・成人の集団的な活動など）
もあると想定されるため、都の独
自の制度である「訓練事業」「地域
デイグループ事業」を継続して実
施ください。

以上三つが、放課後連からの要望
内容です。

制度を維持するためにも、せめ
て年三回、頑張つて通信を発行し
なければ……。

♪♪つくしんぼ日記♪♪

6月21日（月曜日） 天気 はれ

つくしんぼの畑に生えている大きなビワの木に、今年もたくさんの実がなりました。木登りが得意な子は木に登ってビワ採りを手伝ってくれました。ザルにいっぱいになるまで採り、その中から一番おいしそうなビワを選んでそのまま木の上でバクリ。うーん、贅沢。

高い枝の実が高枝切り鋏でバツサリ切って収穫しました。大きな枝を担いで子ども達はなんだか得意そうです。
おかげでザルにもボウルにもお鍋にも溢れるほどのビワが採れました。でも、ビワ採りが好きな子はたくさんいるんですが、ビワを食べる子はあまりなくて……毎年、食べるのは大人ばかりです。（^o^）



ささえる会「入会・ご更新

ありがとうございます

林様、草薙様、岡本様、西川様、
杉崎様、西川様、堀内様、林様、
川上様、鈴木様、山内様、
佐藤様、阿部様、佐藤様、
平田様、山下様



「寄付・ボランティア

ありがとうございます

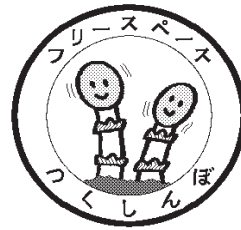
三箇山様、石川様、山下様、山本様、
佐藤様、宮崎様、木村様、桜井様、
行田様、山口様、平澤様、有田様、
小山様、堀内様、西川様、久保様、
藤田様、平沢様 （1月～6月）



SSKP

つくつく通信

「つくしんぼ」はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



★★★★★★★★★★★★★★★★★★
つくしんぼの活動は月曜～金曜日
放課後～午後 5 時 30 分まで
ボランティアさんを募集中です
興味ある方はご連絡ください
★★★★★★★★★★★★★★★★★★



私のつくしんぼライフ

山口 大樹

はじめまして。5 月よりパートをしている、山口です。公民館主催の障がい者青年学級のボランティア活動を通じて、つくしんぼに何度かお邪魔していたのがキッカで働かせていただくことになりました。みなさま、よろしくお願いします。

つくしんぼでは主に、子どもたちのリクエストに応じて、木登りをしたり、遊具のわずかなスキマをくぐり抜けたりしてみせています。こう言うと、読者の皆さまは「何のこっちゃ？」と思われるかもしれませんが、私自身が何のこっちゃ分かっていないのでいささか説明に窮している次第です。言葉通りの遊びをしているのですが、その言葉通りの遊びが一般的に遊びとして認められるのかが悩みどころです。

とにかく一つだけハッキリと分かっていることは、私がそれらのリクエストに応えるたびに、子どもたちは大喜びの拍手でもって迎えてくれるということです。ヒィヒィ怯えながら木に上ったり、イタイイタイと叫びながら遊具のスキマにはさまる情けない姿がおかしいのか。それとも、一種のショーでも観るような感覚で、スリ

ルや興奮を味わっているのかもしれませんが。

しかし、何にせよそこまで子どもたちに盛りたてられては、コチラとしても木登りの一度や二度、披露するにやぶさかではありません。実際には一度や二度どころでは済まない現実もあるのですが、何だかんだと言いながら私自身も楽しんでやらせてもらっています。あまりに楽しすぎて最近ズボンのおしりを破いてしまったので、少しは大人らしく落ちつかないといけない気もしています。

そんな過酷な遊びに参加する一方で、子どもたちと室内でゆったりと過ごしていることもあります。

大好きな布団にくるまっている子や、白紙に自分の好きな色を塗りつけている子、パソコンで遊んでいる子…。思い思いの遊びにふける子どもたちを見ていると、時間はゆったりと流れて行きます。子どもたちも楽しそうに遊んでいて文句なしのひとつときです。ただ一つ問題があるとすれば、あまりにのんびりしすぎてパートとしては何をしたらいいのかわからず、目的を見失うことでしょうか。

また、放課後活動の最後には子どもたちにおやつが配られます。子どもも職員もパートも、みんなで一つのテーブルを囲んでおやつを食べるのです。お待ちかねのおやつを嬉しそうに味わう子どもたちに混ざって、私もモリモリ食べます。いっぱい遊んだ後はお腹が空くので、子どもも私もおやつのは時間は真剣そのもの。みんな、この時とばかりはいつもよりちょっ

と静かだったりします (笑)。

おやつを食べ終えた後は帰りの会。みんなでいっしょに帰りの歌をうたってから挨拶をして、放課後活動を終えます。子どもたちがお母さんといっしょに帰っていくので、そのお見送りなどをします。私などはちょっと寂しい気分にもなるのですが、子どもたちはそんなことないようで平気な顔で帰っていきます。よほど子どもの方がたくましい…とは言え、明日も会えるのだから子どもたちの反応は当然なのですけど。

こうして、私は毎日を子どもたちと同様につくしんぼで楽しく過ごしているわけです。明日は誰が来るんだろう。明日は誰といっしょに遊べるんだろう。つくしんぼからの帰り道、思うのはいつもそんなことです。まだお会いしたことのないお友達もいるので、なおさら明日が楽しみで仕方ありません。

明日こそは会えるといいなあ…。



今田君、その後・・・

つくしんぼの運営母体である NPO はらつ



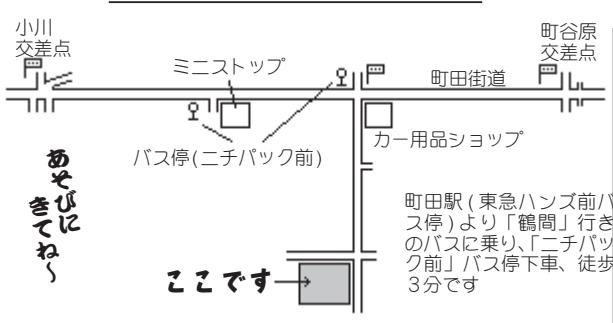
ばが身元引き受け法人となり、2DK のアパートを借りて親しい大学生とルームシェアリングという形態で約一年の間生活してきた今田君の記事を前号 (半年前) のつくつく通信に掲載し、「ルームメイトがいなくなってしまう四月からはどうすればいいのだろう?」と頭を悩ましていたのですが……。

彼が通所している社会福祉法人ウイズ町田において、新規のグループホーム「みおん」が開所されることになり、新年度早々そちらに引っ越ししました。

責任持つて預かっていたはずが、自由奔放な生活過ぎたのか、途中で栄養失調状態にしてしまったほどなので、本当にどうしようか悩んでいた。今とはとにかくホッとしている、というのが本音です。「職場まで近いから遅刻もしてないし、朝晩の食事が用意されているし、自由に使える小遣い分は減ってしまったけど、今はとっても快適」は今田君の弁。

もの凄いパワー(?) でホーム設立に奮闘されたウイズ理事長の天野さんには、ただただ頭が下がります。

♪つくしんぼの地図♪



発行 東京都世田谷区 6 丁目 26 番 50 円
障害者団体定期刊行物協会

「つくしんぼをささえる会」
「ご入会・ご更新のお願い」
フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子どもたちの放課後活動施設です。
1996 年に自主グループとして開所、1998 年に東京都通所デイグループ事業としての認可を受け、2007 年からは運営主体を NPO 法人はらつばに移行し、運営を続けています。活動を開始して 10 年以上経過していますが、補助金額が増えるわけでもなく、運営資金不足は相変わらずの状態です。
よろしかったら「ささえる会」の会員になってください。年会費 2000 円 (一口) でお願いしております。
会員の皆様には、なにもお返しできず心苦しいのですが、この会報紙「つくつく通信」だけは送付させて頂きます。
今年も何回発行できるか……あまり自信ないのですが……よろしく願いできましたら幸いです。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ